

三小タイムズ

令和3年3月24日発行 校長 辻 久恵

修了式（ズームを活用して）

校長の話

コロナのために体育館に集まって出来ないなので、ズームを活用して行いました。



修了証授与に引き続き、頑張ってきたこと、春休みの生活について話しました。詳しくはNO.207を！
みんな教室でしっかり話を聞いています。
校歌は緊急事態宣言が解除されたため、歌うことができました。

児童代表の言葉（1年生）

（抜粋）

1組代表 「てまひまかけた どんぐりめいろ」

ぼくのいちばんのおもいでは、あきまつりでどんぐりめいろやさんをやったことです。さいしょはなにをやってもうまくできなかったけど、みんながきょうりょくしてくれました。おとしあなやはしがあるおもしろいめいろができてよかったなとおもいました。おきゃくさんがたくさんきてくれて、ともだちが「すごいにんきだね」といってくれてうれしかったです。ぼくは、このことをずっとわすれません。

2組代表 「なわとびのわざがふえた」

はじめはできるわざがすくなかったので、5にちかんでらいえのまえで、れんしゅうをしました。たいへんだったけれど、できるようになりました。れんしゅうをつづけました。そうしたらつぎの日、できなかったこうさとびやあやとびができるようになっていました。できるようになったからともだちといっしょに、なわとびをしました。また、いろいろなわざにチャレンジしたいとおもいます。

3組代表 「ともだちがいっぱいできた」

わたしのいちばんのおもいでは、ともだちがいっぱいできたことです。いつもあいてから「ともだちになろう。」といってくれます。わたしは「いいよ。ともだちになろう。」とうなずきます。わたしはたすかっています。なぜなら、わたしはしぶんからはいえないからです。わたしは、ともだちがいっぱいできて、ほんとうにうれしかったです。

